

# 日本個性化教育学会 第17回全国大会

テーマ「個性化教育におけるDE&I（多様性・公正性・包摂性）の展開」

今後の教育の指針として、多様性(Diversity)、公正性(Equity)、包摂性(Inclusion)の頭文字を取ったDE&Iが注目を集めています。一斉指導を基盤に「みんな同じ」に「そろえる」従来の在り方は、正解主義的な学習観・知識観を植え付けるだけでなく、同調圧力により多くの子どもを弾き出してきました。30万人に迫る不登校の子どもたちを含め、すべての子どもに学びを保障し、学校を民主的で公正な社会を実現する場とするには、個別最適な学びと協働的な学び、探究的な学びの展開が不可欠です。今回の学会では、そのための具体的な戦略について考えていきたいと思えます。

●日時：2024年8月3日（土）、4日（日）

●実施形態：Zoomシステムによるオンラインでの開催

●日程：

第1日目（8月3日）：

9:45～10:00 開会行事

10:00～11:10 基調講演 武藤久慶（文部科学省初等中等教育局）

11:10～11:20 休憩

11:20～12:30 講演 澤田稔（上智大学）

「社会的に公正な教育実践における緩さとジレンマの意味論」

12:30～13:30 昼食・休憩

13:30～16:30 分科会1・2・3、自由研究発表1

○分科会1「子どもの学びの文脈を大切に作る学校づくり」

コーディネータ：渡部力（元東北文化学園大学特任教授）

話題提供：佐藤祐美子・西村春香（気仙沼市立面瀬小学校）他

○分科会2「単元内自由進度学習の考え方・進め方1」※小学校の実践を中心に

コーディネータ：佐野亮子（東京学芸大学）

話題提供：木村晶子（上尾市立尾山台小学校）他

○分科会3「英語教育における個性化教育の可能性」

コーディネータ：加藤幸次（上智大学名誉教授）

話題提供：横山稔史（東浦町立北部中学校）他

○自由研究発表1

16:45～17:45 理事会（各地方学会から代表者の参加をお願いします）

## 第2日目（8月4日）：

9:30～12:30 分科会4・5、自由研究発表2

### ○分科会4「研修を個別最適にする」

コーディネータ：藤本勇二（武庫川女子大学）

話題提供：甘利大紀（芦屋市教育委員会）他、小学校の研修主任2名

### ○分科会5「单元内自由進度学習の考え方・進め方2」※中学校の実践を中心に

コーディネータ：佐野亮子（東京学芸大学）

### ○自由研究発表2

12:30～13:30 昼食・休憩

13:30～16:30 シンポジウム「学校でDE&Iを実現する戦略」

コーディネータ：奈須正裕（上智大学）

シンポジスト：安居長敏（ドルトン東京学園中等部・高等部）

神野元基（東明館中学校・高等学校）

村田耕一（広島県教育委員会）

※個性化教育の原点、ドルトンスクールの日本校であるドルトン東京学園の安居校長、AIドリル・キュビナの開発者であり中教審のメンバーでもある神野先生、広島県教委で自由進度学習の「伴走型支援」に取り組んできた村田指導主事にご登壇いただき、DE&Iを目指した今後の学校改革の「戦略」について議論します。

16:30～16:40 閉会行事

16:40～17:00 会務総会

## ●参加申込と参加費：

オンラインでの開催に伴い、昨年と同様、参加申込並びに参加費の支払いは、すべてインターネットで行います。

5月21日（火）から7月27日（土）の間に、学会HP <https://koseika.com/> からお手続きください。手続き確認後、8月1日（木）までに登録いただいたメールに参加に必要なZoomのリンク、大会要項のダウンロード等の情報をお送りします。

大会参加費は、会員2,000円 非会員3,500円（いずれも、システム利用料220円を含む）です。

なお、同じサイトから期間限定で、大会の参加の有無にかかわらず、年会費の支払いもできます。この機会に、便利なインターネットでのお支払いをご利用下さい。

「自由研究発表1・2」は、学会員であればどなたでも発表できます。発表ご希望の方は、別紙「日本個性化教育学会第17回大会自由研究発表申込要領」をご参照の上、6月17日（月）までにお申込下さい。